



Spec Data PolySpar FL

ポリスパーFL (アリファテック透明コーティング)

製品案内

ポリスパーFLは溶剤を含まない、ポリウレアの新技术により開発された100%の脂肪族系ポリアスバティック床用コーティング材です。ポリスパーFLはほとんど無臭(かすかにミントの香りがする)で湿度に対して高い耐性を持っています。この製品は主に既存のエポキシ系コーティング材用のトップコートとして使用される他、単独での床用コーティング材として使用することも可能です。ポリスパーFLは着色安定性が高く、紫外線に対して高い耐性を示します。この製品は-17 ~ 93 の温度下で施工が可能です。一旦硬化すると、摩擦に対する耐性が強化され、光沢のあるスムーズな仕上がりとなります。トップコートとして使用する場合、エポキシやその他の床材の紫外線抵抗力を強化します。また、キシレンやオキシゾールなどのシンナーを使用して薄めて使うことも可能です。

使用方法について

ポリスパーFLはコンクリート、スチール、木材、プラスチックなどの表面によくかっ着します。高い引張り強さは、鉄製タイヤなどの重機やフォークリフトなどが走行する工場の床のクラックや破損を最小限に押えることが可能です。また化学薬品に対する耐性も高く、薬品で荒れた床への施工も可能です。以下は典型的な使用例です。

- ・ 冷蔵・冷凍倉庫
- ・ 工業用倉庫
- ・ 食品加工工場
- ・ 自動車整備工場
- ・ 製紙工場
- ・ 化学薬品工場
- ・ 航空機整備工場
- ・ 農業用肥料工場
- ・ 木製の床

製品のカラーについて

クリア(透明)

カスタムカラーについてはご相談により可能です。

その他の注意事項

ポリスパーFLは床に使用する前によく掻き混ぜてください。スクイージーやローラーを使って均等に広げてください。厚みに限界はありませんが、空気が抜けるように、最大でも0.15mm~0.3mmの範囲で塗布してください。

特徴

速乾性
無溶剤
湿度に対する反応がほとんど無い
高い引張り強さ
着色安定性
さまざまな表面にかっ着
ほとんど無臭
紫外線に対する耐性が高い
さまざまなカラーが使える
-17 ~ 93 の温度下で使用可能
光沢のある仕上がり
エポキシ系床材の延命効果

物理特性データ

引張り強さ	ASTM D-412	psi	3850
伸び率	ASTM D-412	%	15
引き裂き力	CASTM D-624	pli	625
硬度	ASTM D-2240	ショア D	82
発火温度	Pensky/Martin		> 98
磨耗試験	ASTM D-4060	mg loss CS-17	66.8
溶剤含有率		%	0
VOC 含有率		%	0
光沢	ASTM D-523	角度 60°	90+
衝撃吸収	ASTM D-2794		60,10

硬化時間	200g	30分
比率(A:B)		2:3
重量比(A:B)		75:100
歩行可能時間		6時間
重走行可能時間		16-24時間

施工にあたって

ポリスパーFLは適切に処理された、スチール、コンクリート、木材などの表面によくかっ着します。すべての塗布対象物の表面は予めごみやちりなどを取り除いておかなければなりません。厚みを均等に仕上げるために、スクイージー、ローラーなどを使って塗布してください。塗布開始前に表面の塩化物レベルを必ずチェックしてください。樹脂サイド(Bサイド)は使用前に必ず掻き混ぜてください。

ジフリーミキサーなどを使用して少なくとも2分以上掻き混ぜてください。すぐに使わない材料はバケツの中にそのまま保存してください。ポットライフは薄く床に広げた場合よりも

バケツの中にとどめておいた方が長くなります。これはよく利用されている他のエポキシとは反対の特性のため注意してください。レベリングを最適に行なうためにはミキシング後ただちに材料を使用することを推奨します。

注意:一旦硬化が始まった材料の上をさらにスクイージーやローラーでなぞると、表面の仕上がりがでこぼこになり、かっ着力も落ちてしまいます。

コンクリートの場合

古いコンクリート:

サンドブラスト、ショットブラスト、高圧洗浄などを用いて表面の汚れを取り除いてください。オイルなどの汚れも必ず取り除いてください。アセトンなどを使用してコンクリート表面の小さな穴がプライマーを吸収しやすいように処理してください。(濡れた表面にポリスパーFLを塗布しないでください。濡れた塗布対象物への使用の際にはプライマーを限定する必要があるため当社にコンタクトしてください。)またピンホールなどの現象を避けるためプライマーの使用を推奨します。一回のコーティングで0.15mm~0.3mmの厚みで塗布してください。

新しいコンクリート:

30日~60日経過したコンクリートに使用してください。酸によるエッチング(15%塩酸/85%水)を行なってレイタンス(*1)を取り除いてください。プライマーを塗布してください。(適切なプライマーについては当社にお尋ねください。)また塗布開始前にはPhをニュートラルな状態にしてください。ポリスパーFLは0.3mm程度の厚みで塗布してください。

*1=まだ固まらないまたは固まる過程で生じるコンクリートの乳化物

ミキシングについて

Aサイドの溶液をBサイドに全部入れて攪拌してください。ジフリーミキサーなどを使用して2分以上または色が安定するまで攪拌してください。

NOTE:

スチールやメタルなどの表面に使用する場合は予めアセトンやM.E.K.などを使用して表面を拭きとってください。これは表面の湿気を取り除いたり、サンドブラストによって蓄積したほこりなどを取り除くためです。

プライマー

80~100%溶剤を含まないエポキシタイプ、溶剤ベースのアイソシアネート、または撥水タイプアイソシアネート(コンクリートの場合のみ)のプライマーを使用することができます。何種類かのエポキシ系プライマーはアセトンなどで表面を拭き取っておく必要があります。詳細については当社にご確認ください。

トップコート

タックフリー(接触可能)の状態になったらトップコートをかけることができます。油性ペイント、エポキシ、ウレタン、ポリウレアなどをトップコートとして使用することができます。

保存期間と保管について

保存期間:1年間(但し未開封)
極端な高温多湿または冷所に保管しないでください。

輸送方法について

ポリスパーFLは危険物指定を受けていません。通常の輸送方法で取扱いが可能です。

廃棄の方法について

仕上げた製品を廃棄する場合には各地方自治体の指定する方法に従って処理してください。

取扱い上の安全について

製品の購入時に添付される製品安全データシート(MSDS)を必ず参照してください。また、小児や幼児の手の届かない場所に保管してください。

商品体系

ポリスパーFLは7.6%+1.9%キット(B:A)があります。

特性の限界

化学薬品に対する抵抗力を薬品ごとに必ず確認してください。またこの商品は高い引き裂き抵抗力を持ちますが、するどい刃物などで切り裂くことができます。施工にあたっては十分に注意を払ってください。

かっ着カテスト

ASTM D-4541 PATTI テスター

コンクリートブロック (プライマー無し)	350 psi
コンクリートブロック (アイソプライム)	450 psi
コンクリートブロック (100%ソリッドエポキシ)	450 psi
スチール (プライマー無し)	> 1000 psi
木材 (プライマー無し)	250 psi

磷酸 (50%)	
水酸化カリウム (10%)	R
水酸化カリウム (50%)	R,Dis
炭化プロピレン	R
苛性ソーダ - (50%)	R
次亜塩素酸ナトリウム (10%)	RC
重炭酸ナトリウム	R
砂糖水 (10%)	R
硫酸 (50%)	R,Dis
トルエン	R
1,1,1 トリクロエチレン	R,Dis
酢水 (5%)	R
水	R
温水 (82 14 日間)	R
キシレン	R

各種薬品に対する対抗性データ

ASTM D3912 24 時間テスト

化学薬品名	判定 (25)
アセチル酸 (100%)	NR
アセトン	R,Dis
アンモニア水 (20%)	R
不凍液 (50:50)	RC
バッテリー液 (硫酸)	RC
ベンジン	C
ブレーキオイル	R,Dis
飽和食塩水 (310g / ㍓)	R
クエン酸	RC
漂白剤 (10%)	RC,Dis
亜ヒ酸銅 (4%)	R
軽油	R
ガソリン	R
ガソリン/5%メタノール	R
塩酸 (100%)	C
油圧オイル	R,Dis
イソプロピルアルコール	RC
乳酸	RC
MEK	NR
メタノール	R,Dis
メチレンクロロイド	NR
ミネラルウォーター	R
自動車オイル	R,Dis
塩酸 (10%)	R
硝酸 (50%)	R
磷酸 (10%)	R
	NR

表記: R=損傷無し、摘要

RC=摘要、但し若干の変化が見られる

C=条件付き適用

NR = 使用不可

Dis = 変色あり 物理特性には問題なし

塗布量の目安

厚み (mm)	m ² /㍓
0.09	12
0.15	27.45
0.3	13.95
0.45	9.18
0.6	6.93
1.5	2.79
3	1.44
7.5	0.058

1.5 ~ 7.5mm は多層コーティング

* 上記は目安の数値です

製品の保証について

出荷段階におけるポリスパー-FL の品質に関しては当社独自の品質管理により保証されております。しかし、ポリスパー-FL の応用範囲は限り無く、予測されない応用の可能性によって生じる施工の結果の直接的・間接的損害に関して当社は責任を負いません。また施工方法における技術は様々なため、当社が提供するデータに基づく施工可能面積および仕上りの状態についてはデータ通りの結果になることを保証することはできません。